

陥没・空洞事故の経緯 [発生箇所の位置]



令和2年10月18日
陥没位置
埋戻し完了(約140m³)

令和2年11月21日
空洞②確認
充填完了(約200m³)

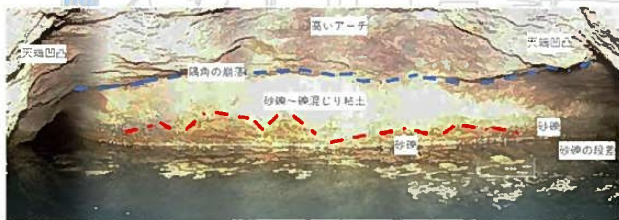
陥没箇所状況写真

令和2年11月3日
空洞①確認
充填完了(約600m³)

令和3年1月14日
空洞③確認
充填完了(約90m³)

至)狛江市

至)三鷹市



空洞②状況写真



空洞①状況写真

本線トンネル(南行)
停止箇所

※空洞③については地下水が満たされていたため
写真撮影不可でした。

陥没・空洞事故の経緯

■これまでの経緯

2020年

10月18日

地表面の陥没を確認
応急措置として砂による埋土を実施(翌朝埋土完了)

10月19日

第1回 有識者委員会※を開催

※トンネルの構造、地質・水文、施工技術等について、より中立的な立場での確認、検討することを目的として設置。

10月23日

第2回 有識者委員会を開催

11月 3日

陥没箇所から約40m北にて、空洞①を確認
(11月24日充填作業完了)

11月 5日

第3回 有識者委員会を開催

11月6日、7日

陥没箇所周辺の方を対象とした説明会を開催(計3回)

11月21日

陥没箇所から約30m南にて、空洞②を確認
(12月3日充填作業完了)

11月27日

第4回 有識者委員会を開催
陥没箇所周辺の方を対象に家屋中間調査の意向確認を開始

12月18日

第5回 有識者委員会を開催
・陥没・空洞の要因分析(中間とりまとめ)

12月20日、21日

陥没箇所周辺の方を対象とした説明会を開催(計3回)

12月25日

専用フリーダイヤルを開設

陥没・空洞事故の経緯

■これまでの経緯

2021年

- | | |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1月 8日 | 家屋補償等に関する相談窓口を開始
※3月末時点で計18回実施 |
| 1月14日 | 陥没箇所から約120m北にて、空洞③を確認
(1月22日充填作業完了) |
| 2月12日 | 第6回 有識者委員会を開催
〔 <ul style="list-style-type: none">・追加調査等を踏まえたメカニズムの特定・地盤の補修範囲等の特定・再発防止対策の基本方針の議論 〕 |
| 2月14日、15日 | 陥没箇所周辺の方を対象とした説明会を開催(計3回) |
| 2月26日 | 陥没箇所周辺の各戸訪問(約1,000世帯)を開始 |
| 3月19日 | 第7回 有識者委員会を開催
〔 <ul style="list-style-type: none">・再発防止対策の確定
⇒報告書の公表 〕 |
| 4月 2日～7日 | 陥没箇所周辺及び沿線7区市の方を対象とした説明会を開催
(計10回) |
| 4月19日 | 常設の相談窓口(つつじヶ丘相談所)を開設 |

陥没・空洞事故の経緯

■これまでの経緯

2021年

9月10日 トンネル坑内からの調査結果に基づく地盤補修範囲の特定

12月10日、11日 現場視察会を開催

○現場視察会の実施状況

12/10(金) 18組 24名

12/11(土) 32組 57名

合計 50組 81名

○主なご意見

- ・定期的また広範囲の人に見学できるようにしてもらいたい
- ・実際にどんな工事が行われているかわかって安心感につながった
- ・二度とトラブルの無いように施工してほしい

○改善要望

- ・陥没箇所やシールドマシン付近までの見学を希望
- ・陥没、空洞事故について詳しい説明を聞きたかった
- ・開催告知をもっと早く知らせるべき

○上記のご意見等を踏まえ、今後も同様の視察会開催を検討してまいります



12月14日 調布市域(入間川東側エリア)における追加調査結果の公表

12月17日、18日 『地盤調査状況及び地盤補修に関する検討状況のご説明』